



第91回日本整形外科学会学術総会 ランチョンセミナー 41

日時

2018年5月27日(日)

11:50~13:00

会場

神戸ポートピアホテル
第8会場(南館B1F サファイア)

神戸市中央区港島中町 6-10-1

フレイルと人参養栄湯 — 健康長寿に向けて —

座長

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科 准教授

佐久間 真由美 先生

演者

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授

乾 明夫 先生

認定単位：日整会専門医単位(N) 1単位

必須分野：4.代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)または8.神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)

フレイルと人参養栄湯 －健康長寿に向けて－

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授 乾 明夫 先生

高齢化が進むわが国において、サルコペニア（骨格筋萎縮）を基礎としたフレイル（frailty）が注目されている。フレイルは精神・心理的、社会的、身体的フレイルなどに分けられるが、運動器の概念であるロコモティブシンドロームは、身体的フレイルに近い病態であると考えられる。

心身の異常を呈するフレイルは、多成分系を特徴とする漢方薬のよい適応である。人参養栄湯は最強の補剤とも称され、がんの緩和医療などに広く応用されてきた。高齢者においては食欲促進、サルコペニア改善、免疫機能の強化、感染の制御など、在宅医療への応用やフレイルの予防・改善効果が期待される。

人参養栄湯の構成生薬では、人参や人参サポニンのギンセノシドによる疲労、抑うつ軽減、骨密度の増加、動脈硬化巣（アテロームプラーク）の縮小、認知機能や老化徴候の改善、前立腺肥大の抑制など、多彩で興味ある作用が報告されている。人参以外にも、白朮（アトラクチレノリド III）や遠志（テヌイゲニン）によるエネルギー代謝改善・神経保護作用や認知・情動（抑うつ）への好影響が報告されている。黄耆（アストラガロシド）は高分子型アディポネクチン（活性型）を増加させ、インスリン感受性を亢進させる。五味子（シザンドリン）は骨格筋代謝の重要因子 PGC-1 α を介して疲労を改善し、運動能力を増大させる。陳皮（ヘスペリジン・ナリルチン）は神経保護作用を有し、老化に伴う脱ミエリン化や認知機能を改善する。陳皮、茯苓（パキマ酸）、甘草や人参由来パナキサジオールは、グレリンシグナリングを改善し、食欲促進・サルコペニア改善など人参養栄湯の作用機構の一端を担うものと思われる。人参は骨髄の造血系や間葉系幹細胞への刺激作用が知られ、臓器組織の修復再生に関わるものと考えられる。

本講演では、健康長寿に及ぼす人参養栄湯の作用とそのメカニズムを、エビデンスをもとにまたアンチエイジングの立場から述べてみたい。

略歴

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授

1978年 3月 神戸大学医学部卒業

1978年 6月 神戸大学医学部附属病院医員（研修医）に任用

1984年 7月 神戸大学医学部助手に任用

1997年12月 神戸大学医学部附属病院講師に任用

2000年 1月 神戸大学医学部助教授に任用

2001年 4月 神戸大学大学院医学系研究科 応用分子講座 消化器代謝病学分野（旧二内科）助教授に任用

2004年10月 神戸大学病院 糖尿病代謝内科診療科長に任用

2005年 1月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 社会・行動医学講座 行動医学分野（現心身内科学分野）教授 及び鹿児島大学病院 呼吸器・ストレスケアセンター 心身医療科診療科長に任用

2009年 4月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻長に任用

2012年 7月 鹿児島大学病院 漢方診療センター長に任用

2018年 4月 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座 特任教授に任用 現在に至る

専門・指導医

日本内科学会指導医・認定医、日本心療内科学会専門医、日本消化器病学会指導医・専門医

日本内分泌学会指導医・専門医、日本老年医学会指導医・専門医、日本肥満学会専門医